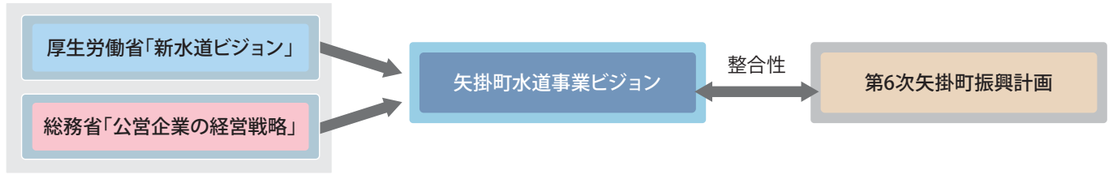
矢掛町水道事業ビジョンの概要

ー安全で安心な水をいつまでも継続する矢掛の水道ー
安全・安心やかげの水Do!

1　水道事業ビジョン策定の主旨

矢掛町水道事業ビジョン」は、本町水道事業が進むべき方向として、中・長期的な事業運営の方針を示したものです。また、「第６次矢掛町振興計画」との整合性を図りながら、厚生労働省の「新水道ビジョン」が示す水道の理想像「安全」、「強靭」、「持続」および総務省が策定を求めている「公営企業の経営戦略」の内容を併せ持つものとして策定しました。



計画期間は、平成29年度から平成38年度までの10年間とし、概ね5年毎に事業の進捗状況について点検・評価を行い、計画を見直します。

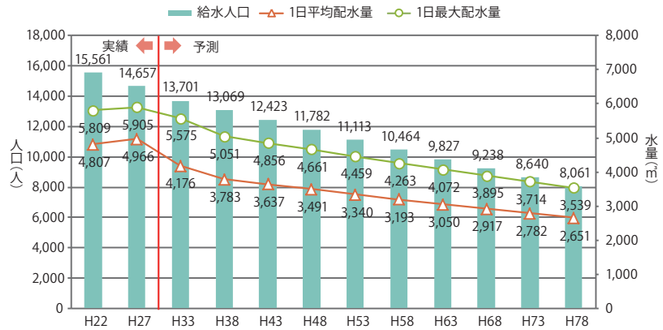
2　水道事業の概要

本町の水道事業は、昭和47年に創設し、昭和50年に給水を開始して以来、水需要の増加や給水区域の拡張に対応するため、第五次にわたる拡張事業に取り組んでまいりました。

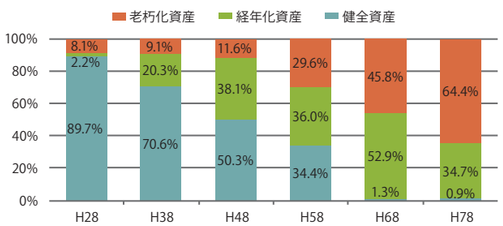
平成27年度末の現在では、給水人口は14,657人、普及率が99.5%となっており、安定給水に向けた里山田配水池の整備を終え、19箇所の配水池により町内全域に配水を行っています。

3　水道事業を取り巻く環境

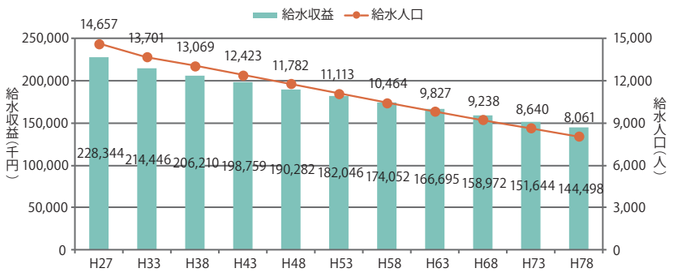
人口および水量の減少



施設の老朽化



資金の確保



4　目指すべき方向性

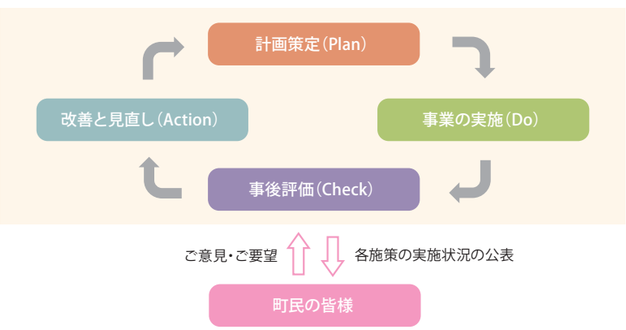
矢掛町水道事業ビジョン

安全で安心な水をいつまでも継続する矢掛の水道
水道の理想像　**「安全・安心やかげの水DO（すいどう）」**

- 持続　**いつまでも町民から信頼される水道サービスの持続**（本町の主要施策）
- 安全　**安心して蛇口から直接飲める水道の確保**
- 強靭　**災害に強い施設と組織の形成**

5　課題と対応策

課　題	対　応	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
・給水収益の減少 ・施設効率の低下	アセットマネジメントの実践	アセットマネジメント計画 第Ⅰ期									
	施設のダウンサイジング・統廃合	水需要の動向から費用対効果について随時検討									
	有収率の向上（漏水への対応）	平成38年度目標有収率90.0%									
・水道施設の耐震性能不足	東川面浄水場の耐震化	認可取得	詳細設計	3ヶ年工事							
	構造物の耐震化	アセットマネジメント計画の更新に合わせて耐震化									
	管路の更新	石綿セメント管の更新						塩化ビニル管の更新			
・業務の効率	外部委託の検討	更なる業務の効率化へ向けた外部委託の検討									
	広域化の推進	検討会の実施									
・環境への配慮	高効率機器の導入	アセットマネジメント計画の更新に合わせて高効率機器を導入									
	太陽光発電設備の導入	江良水源地で運用中・東川面浄水場の耐震化に併せて新規導入									
・水源水質の悪化	クリプトスポリジウム対策	東川面浄水場の耐震化と合わせて実施									
	水安全計画の策定									計画・運用	
・にごり水など水道水質への対応	情報の広報・周知体制	広報紙の活用・ホームページの充実化									
・非常時への対応	防災計画の策定	計画の実践活動									
	災害備蓄品の整備	備蓄品の維持管理									
	給水基地の設置	緊急時の運用									

6　フォローアップ

矢掛町水道事業ビジョンで掲げた各施策を確実に実施していくため、PDCAサイクルを実施し、各施策の進捗状況や設定した目標の達成度などの検証・評価から5年ごとの見直しを行います。